

1.2.6 津波浸水予測図作成

延宝地震（1677）と元禄地震（1703）を対象とした場合、津波浸水予測図及び最大津波高の空間分布を示す。ここでは、「銚子～一宮町」領域の第7領域①の結果のみを示す。

ただし、試計算でもあり、解析の潮位を T.P.+0.0m と仮定し、結果は現在精査中である。

【津波に関する主な用語の説明】

- **最大遡上高** : 各地区で津波が到達する最高の標高
- **最大津波高** : 各地区の沖合いにおける最も高い標高
- **浸水深** : 各地の地表面からの水面の高さ

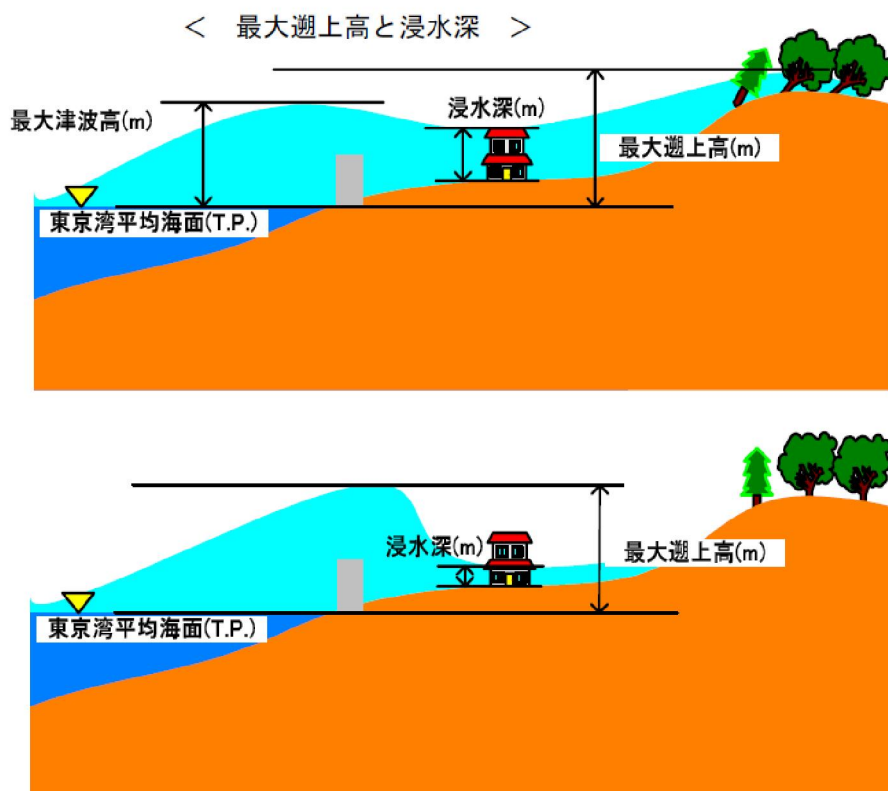


図 1.2-17 最大遡上高と浸水深の概念図

※東日本大震災千葉県調査検討専門委員会 第3回 資料-2 より抜粋

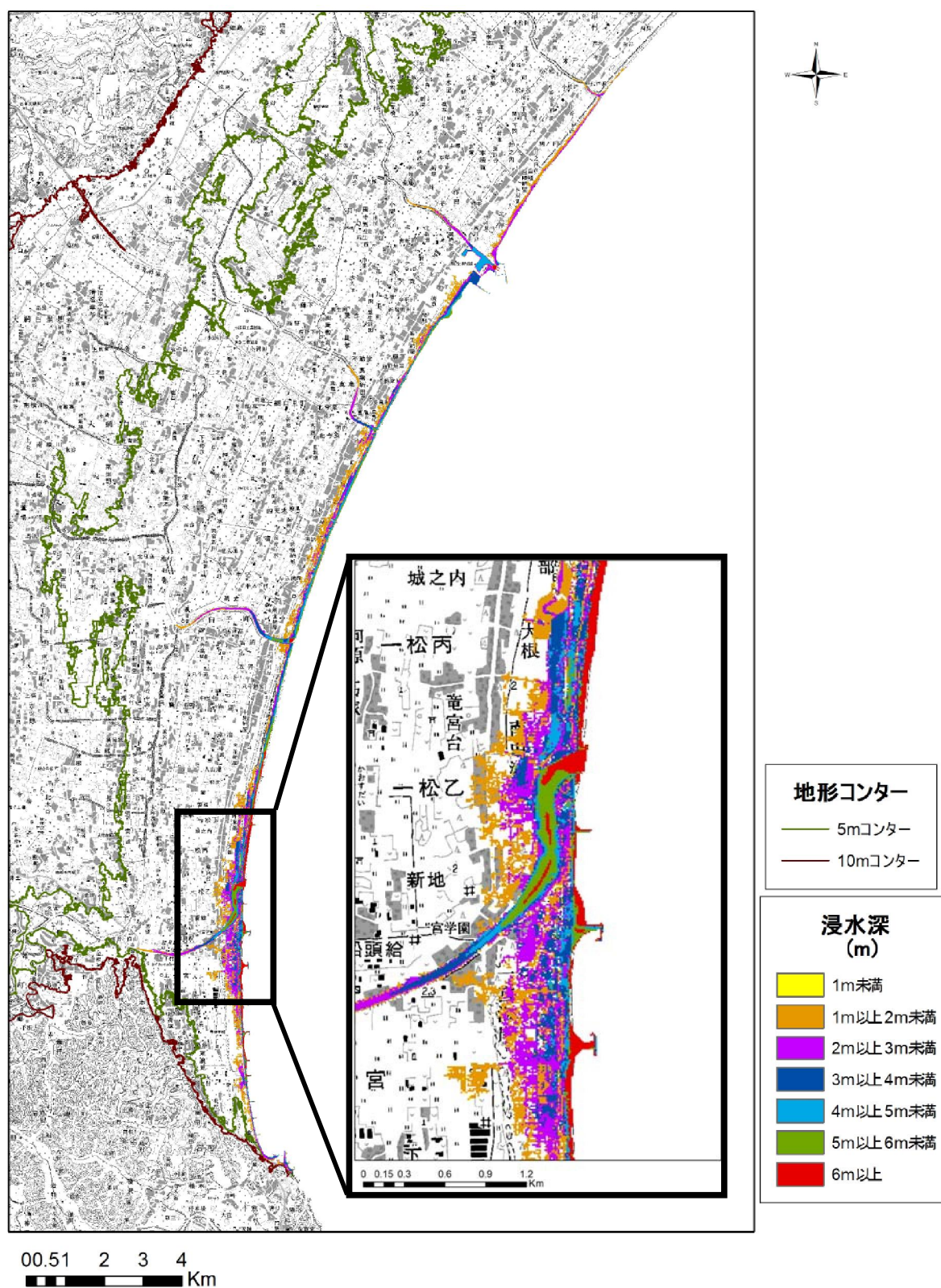


図 1.2-18 津波浸水予測図（延宝地震（1677）） [現在精査中]

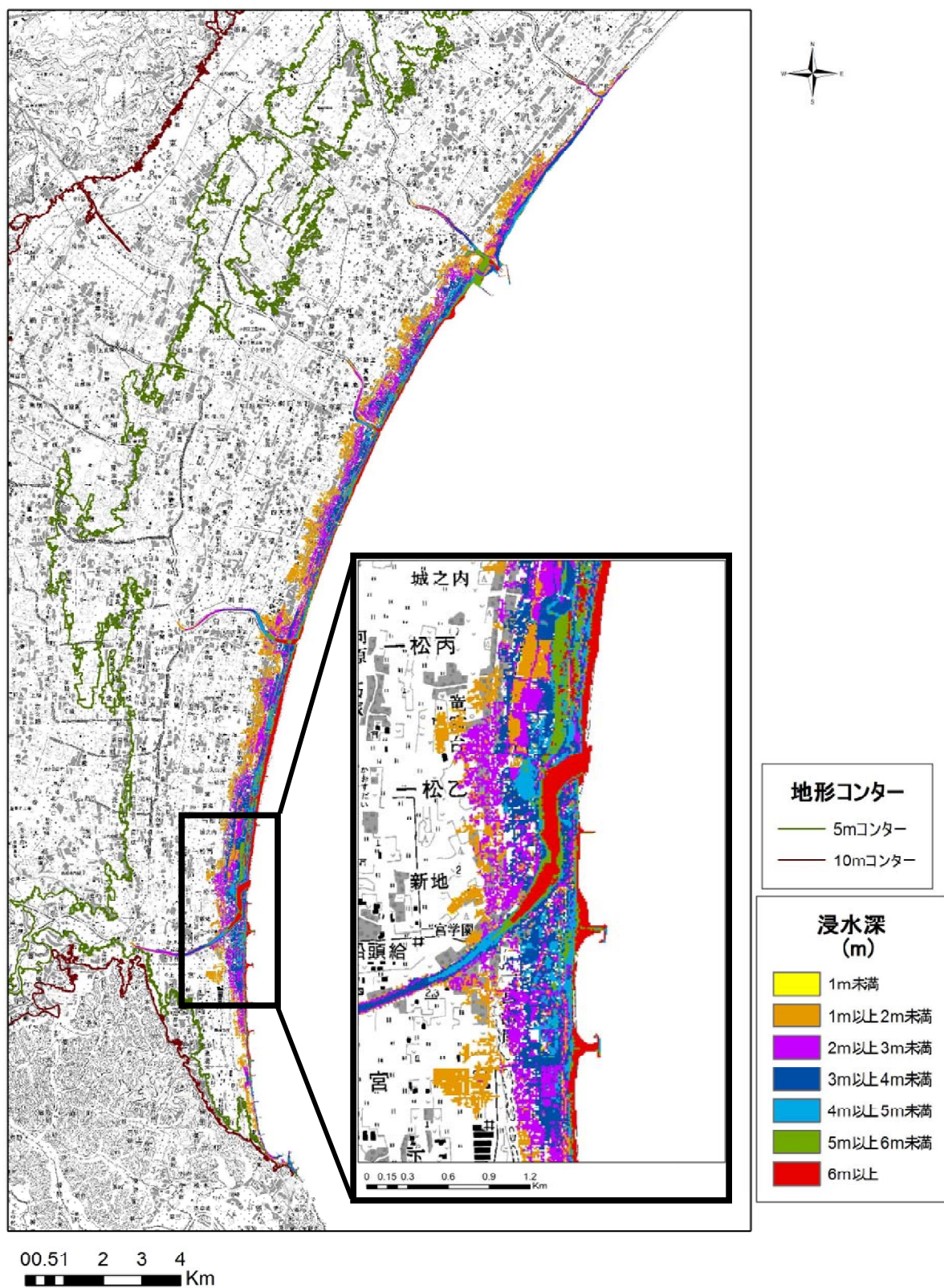


図 1.2-19 津波浸水予測図（元禄地震（1703）） [現在精査中]

また、津波高の評価は、気象庁の津波警報・津波注意報では、原則、海岸沿いの水深 **1m** の箇所としていることから、「銚子～一宮町」領域の第 7 領域①における沿岸の津波高を密に把握できるように図 1.2-20 に示す評価地点を設定した。

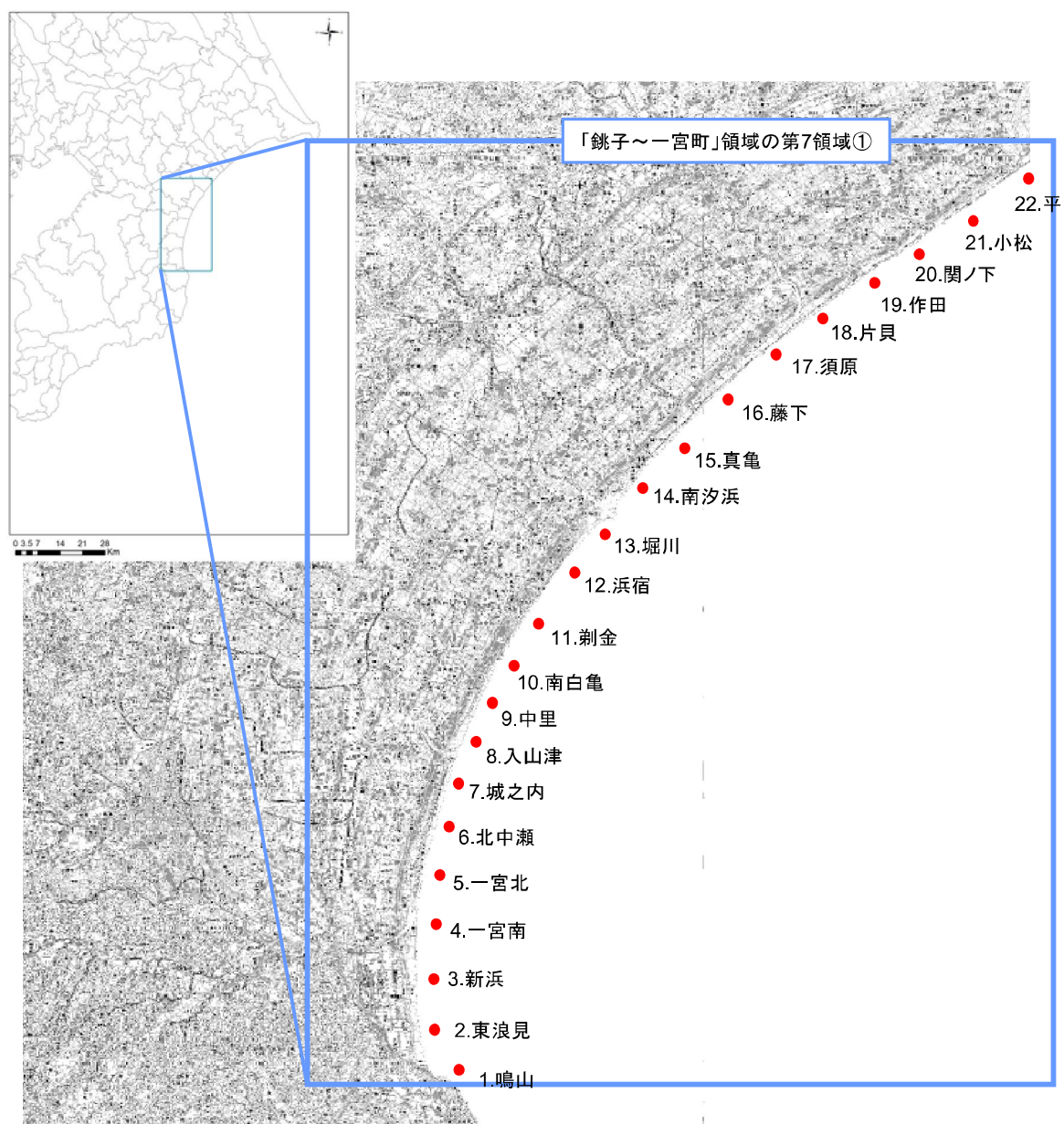


図 1.2-20 「銚子～一宮町」領域の第 7 領域①における津波高評価地点位置図

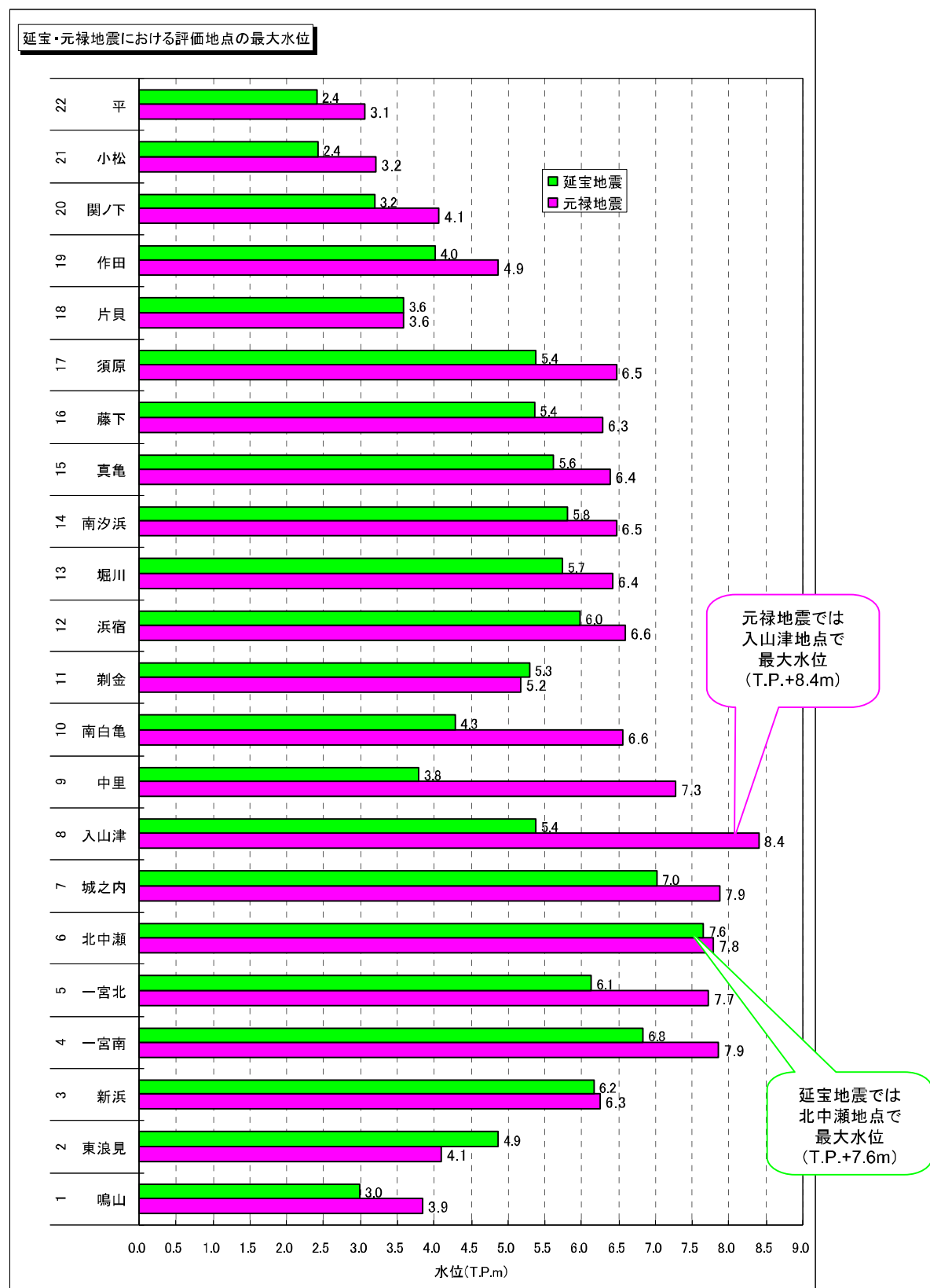
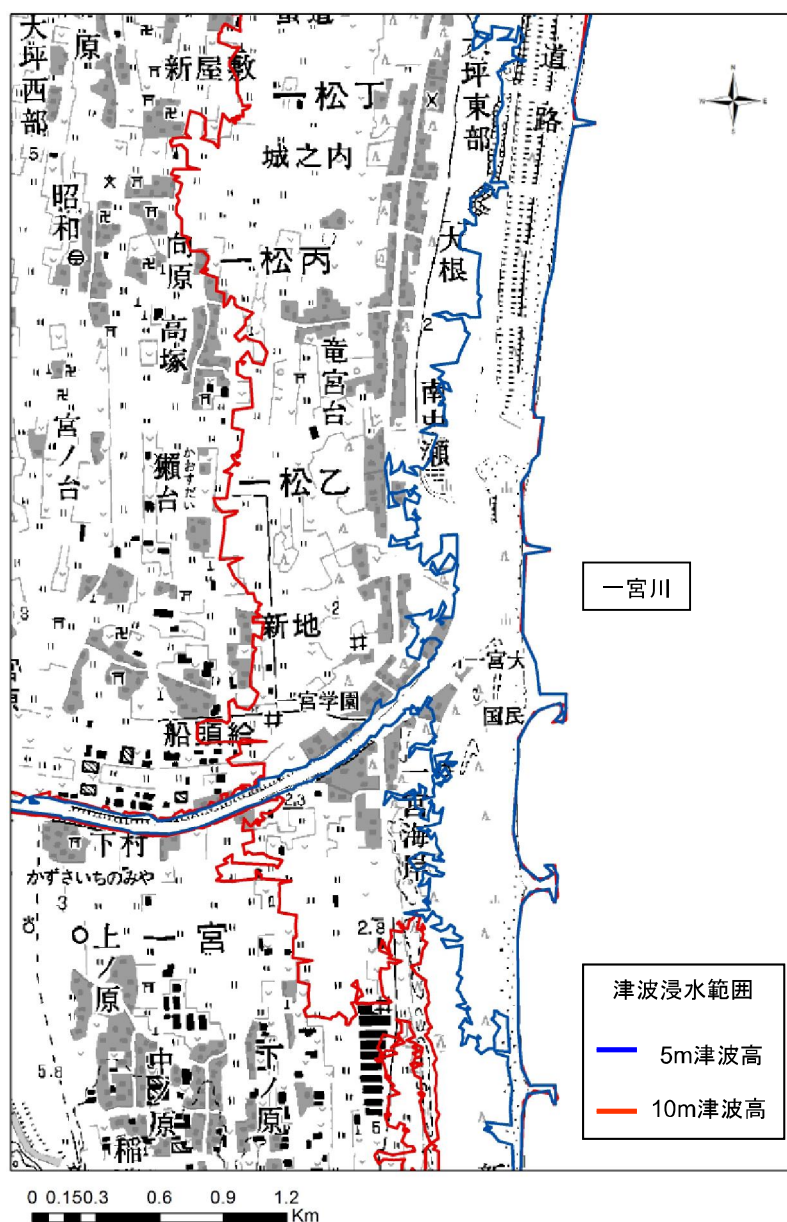


図 1.2-21 津波高評価地点における最大津波高（延宝地震、元禄地震） [現在精査中]

1.2.7 気象庁の津波警報に対応した津波浸水予測図の一例

気象庁の津波予警報に対応した津波浸水予測図を作成する際、設定領域は津波シミュレーションの最小領域（第7領域、12.5mメッシュ）を基本とし、津波高の評価は海岸沿いの水深1mの箇所とする。そこでの津波高が気象庁の津波警報・津波注意報での発表高さのうち、3m（1～3m）、5m（3～5m）、10m（7～10m）に相当する規模となるように津波高を設定する。

以下に、元禄地震の波源モデルを代表とし、すべり量等の波源パラメータを変化させることで各海岸での最大津波高を気象庁予報の津波高（5m、10m）に合わせた場合、一宮川周辺の津波浸水予想図の一例を下記に示す。



[現在精査中]

図 1.2-21 元禄地震の津波高 5m、10m来襲時における津波浸水予想図の一例